

**令和7年度第45回全国豊かな海づくり大会に係る機運醸成事業の企画・運営業務
への質問に対する回答**

NO.	資料名称・項目番号	質問内容	回答
1	仕様書 4 業務内容等 (2)	「小中学校等」の表現について 学童・第三の居場所・フリースクールは含まれますか？	お見込みのとおり、含みます。 他にも、当委員会以外の主体が実施するイベントでの実施等も想定しています。
2	仕様書 4 業務内容等 (2)	学校との協業にあたってのタイムスケジュール想定について 受託後にプログラムの詳細が決まるのが夏休み期間中となるかと思 います。その他調整等で学校等に提示できるのが2学期頭となる と考えられ、そこから学校等と調整して授業実施日を決めていくとい う流れになるかと思われます。そうなると出前授業に関して各校の 授業時間との調整が難しくなるかと判断されますが、授業実施日 がいつごろから可能と想定されているのかご回答いただけますでしょ うか。	出前授業の実施に際し、授業実施の時期については定めていません。 各小中学校との調整に御指摘の課題がある旨は当委員会も承知しており、質問NO.1で示す回答のとおり、実施先を 小中学校のみに限定することはありません。 仕様書「2 履行期間」で定める期間を通じて、仕様書「4 業務内容等（3）⑨」で定める実施回数及び参加者数を 満たす内容を行っていただきますようお願いいたします。
3	仕様書 4 業務内容等 (2) ⑧	出前授業の受け入れ候補校の選定について 大阪府実行委員会より学校や各教育委員会宛への働きかけのも と、事業運営ができると考えてよろしいのでしょうか？ 例示として、 A：大阪府実行委員会より各教育委員会宛に趣旨その他が通 達されて、各教育委員会より各校に案内が行き、実施受け入れを 表明された候補校の中から事業者が実施校を選定する。 B：特に事前の趣旨説明などされず、事業者が個別に各学校に 連絡・事業の説明をして、受託者自身で受け入れ候補校を開拓 する。 C：その他 どのような想定で考えておけばよろしいでしょうか。	「小中学校等での出前授業（以下、全ての回答で「出前授業」という。）」を実施する旨は、ホームページ等を通じて 周知を行うことを検討していますが、原則としてBを想定してください。 事業者にて個別に各小中学校等に事業説明のうえ、実施先の候補を確保すべく、連絡調整を行っていただきますよう お願いします。 なお、当委員会から実施先の候補について情報提供の上、調整をお願いすることがあります。

4	仕様書 4 業務内容等 (3) ⑨	「10 回以上実施し、参加者は延べ 400 人以上」の表現について 学校の数、学校のクラス数、授業コマ数などによりカウントの仕方が異なることになるかと思います。 例示として A: 1校3クラスに対して2時限分の授業を、同日に行った場合 B: 1校3クラスに対して2時限分の授業を、異なる日に一クラスずつ行った場合 C: 1校3クラスに対して1時限分の授業を、日を改めて別内容で二度行った場合 各々何回とカウントすることになりますでしょうか。 また別のケースとして、 D: 1校の異なる学年に、学年に応じて異なるプログラムを実施する場合 E: クラスの生徒数が多くて 2 つに分けた場合 各々何回とカウントすることになりますでしょうか。	出前授業について、小中学校ではクラス単位での実施を想定しております。 したがって、実施先のクラスごとに実施回数を計上します。 一方で実施回数の計上に際し、以下の点について御留意ください。 イ) 「大阪湾の魅力と『豊かな海づくり』の重要性を府民に広く周知し、府民の行動変容を促す」との本事業の目的に照らし、幅広く波及効果を生むため、出前授業を可能な限り多数の小中学校等で実施できるよう、連絡調整に努めてください。 ロ) 授業コマ数については考慮しません。仮に複数コマにわたる授業を実施したとしても、同一の授業とみなします。 なお、本項目で定める実施回数及び延べ参加者数の下限については、「自然のつながり実感！体験会」と出前授業の合計によるものですので、御留意ください。 御質問の例示について、以下のとおり回答します。 なお、いずれの例示においても、実施場所は全て当委員会と協議の上決定しますので、本回答はあくまでも参考として御確認ください。 A: 3回 B: 3回 C: 3回 D: 実施クラス数 E: 1回
5	仕様書 4 業務内容等 (3) ⑨	「10回以上」の表現について 機運醸成をより効果的になるよう折角の機会を活かして出来るだけ大勢の方々と触れ合いたいと思っております。例えば50回行う想定の予算規模、10回行う想定の予算規模で各々異なる想定提出金額を用意しています。実施回数などの内容如何ではなく、あくまで入札金額による決定となると考えてよろしいでしょうか。	可能な限り多くの参加者を得られることが望ましいことは言うまでもありませんが、一般競争入札による公募であることを踏まえ、入札金額により落札候補者を決定します。